

◎交通政策の経費

交通環境整備事業

【 交通政策課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
総合交通: 人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

(1) 交通環境整備事業

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査を実施した。
- ・「七里ヶ浜パークアンドレールライド」「由比ヶ浜パークアンドライド」「江の島パークアンドレールライド」「稲村ヶ崎パークアンドレールライド」及び「鎌倉フリー環境手形」の推進に取り組んだ。また、交通関係事業者と行政による「交通需要マネジメント会議」を開催し、より利用しやすいシステムの検討を行った。
- ・バス乗降客の安全の確保及び停車により生じる渋滞の緩和等を図るため、七里ヶ浜駅バス停留所にバスベイを整備した。併せて、駐輪場の照明灯を設置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 七里ヶ浜駅のバリアフリー化 (5-3-2-③)
- バスベイの整備 (5-3-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,425	18,325	14,336		3,989
主な支出内訳				
・ 交通環境整備事業				
交通量調査業務委託料				1,544
パークアンドライド等実施PR委託料				2,674
七里ヶ浜駅バスベイ整備工事請負費				9,870
七里ヶ浜駅バリアフリー化工事請負費				0

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・パークアンドライド等のシステム利用者の増大を図る。 ・パークアンドライド等のシステム利用者の増大を図るため、システムの変更や、現行の路線以外の新規駐車場の確保について、検討する必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・パークアンドライド等の利便性向上のため、案内看板の整備や、地域情報誌での情報発信を行った。 ・江ノ電七里ヶ浜駅周辺の交通渋滞解消と安全確保のためにバスベイを整備した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・江ノ電七里ヶ浜駅のバリアフリー化について、事業者と協調して、同駅のバリアフリー化を計画したが、事業者施工部分が着手できなかったことから、市施工部分の工事を見送った。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・駅施設のバリアフリー化は、市民等のニーズが高いことから、事業者と協調し、引き続き取り組む。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	・交通需要に見合った道路整備が難しい状況から、流入交通の抑制策として、交通需要管理や公共交通の充実に今後も取り組む。交通需要管理策の一つとして推進しているパークアンドライド等については、より利用し易いシステムの改善を図る。 ・駅施設のバリアフリー化は、計画的に取り組む。				
担当課長氏名:		交通政策課長 高橋 一也			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	・流入交通量の増加による地域経済への影響や環境負荷などの低減を図るため、交通環境の改善に取り組んでいく。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		